

# 健康と文化の森地区 まちづくりだより



## 第5回健康と文化の森地区まちづくり協議会において、 「柏の葉キャンパス駅」周辺のまちづくりを視察しました。

11月26日に、第5回健康と文化の森地区まちづくり協議会を開催しました。

協議会では、健康と文化の森地区のまちづくりの検討の参考とするため、つくばエクスプレス（TX）の柏の葉キャンパス駅周辺地区（千葉県柏市）において進められているまちづくりの状況を視察しました。

視察では、まず「柏の葉アーバンデザインセンター」を訪問し、職員から柏の葉キャンパス駅周辺のまちづくりの経緯や概要についての講義を受けた後、質疑応答を行いました。

つづいて、植物工場千葉大学拠点施設を訪問し、千葉大学大学院丸尾教授からの講義を受けた後、実際にトマトやレタスの植物工場を見て回り、栽培や運営上の工夫や苦労などについて説明を受けました。



### 柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

#### 講義・説明の主な内容

- ・2km 圏内に研究施設や都市機能のほとんどが集積
- ・三井不動産が主体となり区画整理事業を実施
- ・「公民学」が連携するキャンパスタウンを構想
- ・大学と市が協定を結び、研究が生活に密着する取り組みを展開
- ・UDCK がまちづくりの「見える化」を推進

#### 質疑・応答の主な内容

- ・まちづくりが終了したら UDCK はどうなるのか？  
→ エリアマネージメントなどを行っていくかどうか議論中
- ・従前は農地があったのか？農地は怎么样了のか？  
→ 従前は大部分が三井のゴルフ場で農地はほとんどなかった
- ・鉄道事業者（TX）のまちづくりへの関わり方は？  
→ 鉄道と駅の整備、高架下の活用などがメイン
- ・UDCK の活動実態は？  
→ まちづくり支援のための会議や作業に日々追われている

#### UDCK の外観



#### 講義・説明の様子





## 植物工場 千葉大学拠点施設の訪問

### 講義・説明の主な内容

- 2011年から稼働し、年8,000人が見学にくる
- 災害に強いので地域の防災拠点にもなり得る他、高齢者の働く場としても有用と考えられる
- 複数の企業が事業共同体をつくり、各共同体が生産量や売上を競い合い、切磋琢磨
- 生產品はスーパーやレストランなどに流通

### 質疑・応答の主な内容

- 利益はどのくらい得られるのか？  
→夫婦で1800万円/年の所得となる経営モデルを目指す
- 味や栄養素はどうか？品質はどうか？  
→味や栄養素は通常の栽培とあまり変わらない、安定的・計画的に同品質のレタスやトマトを生産しやすい
- 労働環境はどうか？  
→温度が一定、日焼けせず、酸素濃度も高いなど利点が多い
- 生産コストは？  
→レタスは85円/個、イニシャルコストの償却費：人件費：光熱費が1:1:1の割合

### 講義の様子



### 植物工場視察の様子



## 今後のまちづくり協議会の進め方

検討委員会と連携しながら、今年度は基本構想の策定をめざします。

《平成24、25年度》

第1～4回協議会  
(H25.3.18～H25.9.20)

- 会の発足
- 協議会の目的と今後の進め方
- まちあるきの実施
- ワークショップ
- 問題点や要望等の意見を整理・分類

第5回協議会  
(H25.11.26)

- 千葉県柏市の柏の葉キャンパスタウンの視察

第6回協議会  
(H26.1～)

- まちづくりのコンセプトにつながるイメージやキーワードの検討

第7回協議会  
(H26.3～)

- まちづくりの方針等の確認

基本構想

《平成26年度》

第8回以降協議会

- 新駅周辺のまちづくりの検討詳細化
- まちづくりのルール及び整備手法の検討等

基本計画



### 健康と文化の森地区のまちづくり情報をホームページで配信中

下記のアドレスを直接入力いただくか、藤沢市のホームページで「健康と文化の森」をキーワード検索して、健康と文化の森地区のまちづくりサイトにアクセスしてください。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/seihoku/page100039.shtml>



「まちづくりだより」に関するお問い合わせ、ご意見などはこちらまで

健康と文化の森地区まちづくり協議会事務局

藤沢市 都市整備部 西北部総合整備事務所  
担当：政井、長田、小藤田

〒252-0805 藤沢市円行 2-3-17

まちづくり協会ビル 3階

電話：0466-46-5162（直通）

